

## 医療安全対策室 研究業績 (2017年)

学会発表(特別・教育講演、シンポジウムを含む)

- 1
  - ① 小林 睦、市村 理恵子、黒田 暢一、今中 秀光
  - ② 心肺停止症例に対する院内緊急コールの検討
  - ③ 口演
  - ④ 日本集中治療医学会
  - ⑤ 神戸
  - ⑥ 2017/7/8
  - ⑦ 緊急コール発動症例の予後を検討し、発動時間帯によって予後に差があることが示唆された。予後改善には、蘇生活動の時間帯格差の解消と早期発見早期対応の充実が必要である。
  
- 2
  - ① 市村 理恵子、小林 睦、黒田 暢一、今中 秀光
  - ② 院内急変・心肺停止患者の救命率向上への取り組み
  - ③ ポスター
  - ④ 医療の質・安全学会
  - ⑤ 千葉
  - ⑥ 2017/11/25
  - ⑦ 院内蘇生活動協議会の取り組みで物的整備・人的整備によりドクターハート発動後の蘇生活動の質は向上した。またRRSの有効性が示唆された。課題は初動の改善とRRS起動に至る気づきに対する教育である。